

6月定例会 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く19人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長安部重幸議員）は、条例8件、予算2件、その他4件について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり、特に放射能対策では活発な質疑が交わられました。結果、全14議案が原案のとおり可決されました。

地域づくりサポート事業について

問 補正総額の約4割を占める2億5千2百45万円の事業委託料の内容は。

答 昨年12月補正からの事業で、被災地の大槌町・陸前高田市と当市で被災者やボランティア各60名・計180

名を雇用し、被災地の地域づくりを支援しようとする内容で、当初予算の120名分に今回60名分を追加するもの。

問 事業委託額を60名で割れば1人当たり約40万円の高額となるが、仕事の内容や金額の算定はどのようなものか。また市内への経済効果は。

答 地域の復興はコミュニティを創らなければならぬ。被災者の心のケアを第一に相談業務の受付、ハード面での施設の運営、野菜づくりなど収入増につなげる取組みを進め、予算の内訳は半分が人件費、後はその他の経費でお茶会等の消耗品やイベント開催等の費用である。1人当たりの金額は約250万円程度と思われる。遠野市内からも現在53名が採用され、雇用の面や物品の購入などで市内への波及効果も高いと思われる。

遠野風の丘の風車折損事故について

問 3月21日の強風で、風の丘の風車のプロペラ（シリンダー）が折れて柱1本の状態となっている。原因究明の経過や復旧の目途は。

答 業者からは5月31日現在までの説明と文書報告を受け、担当課として概ね理解している。想定外の風力が加わり、風車を支えるヨードラムという部分が構造的に破壊された事が原因である。プロペラの部分には問題はなかったとの報告。問題の部分について一定の改造やプログラムの変更を加えた上で再設置させて欲しいという話までになつてはいるが、国道沿いや駐車場の近くという事で市民の安全性を確保することが重要であり、詰めの協議の段階である。

問 想定外の風というほどの強風とも思われなかったが、部品の欠陥とは別の理

由で再設置に至らないということか。

答 安全性の担保と、高速道路や取付道路から見たときのシンボルとして今の場所がふさわしいのか、違う場所に設置するのがいいのか、議論を重ねている最中であり、指摘内容や現場の声を踏まえ判断して行きたい。



現在の風車の状況

青年就農給付金について

問 青年就農給付金事業の内容と対象者は。また、事業内容の周知方法は。

答 農業を取り巻く情勢は、農業従事者の減少・高

災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務を委託するについて

年齢、農業後継者の不足、さらに原発問題などで厳しい状況に置かれているが、この時期にリスクを背負って農業経営を開始するという若者（原則45歳未満）に対して経営が軌道に乗るまでの所得確保を支援する事業であり、給付期間は最長で5年間、給付額は個人就農に150万円/年で夫婦就農の場合には225万円/年である。また、受給対象者は新規就農者と平成20年以降に就農した方も該当する。

なお、多くの新規就農者を確保するために、あらゆる媒体（広報とおのや遠野テレビ、市のホームページ）の駆使はもとより、農業委員会の支援を頂きながら市民への周知徹底を図る。

問 東日本大震災における災害弔慰金等支給審査会の委員の任命と運営事務に関して岩手県に委託することの背景と理由は何か。